

いわみざわ



IWAMIZAWA

発行所 陸上自衛隊 保地会
見沢市 岩見沢市 岩見沢市 岩見沢市
0126 45-2721

群長着任の挨拶



第12施設群長兼
岩見沢駐屯地司令
1等陸佐 多田 紀幸

この度、命により得田群長の後を受け、第12施設群長を拝命した多田1佐です。施設科職種の一員として、群長という要職に付けることは男子の本懐これに過ぎるも

のではないと考えています。私自信、昭和44年幹部候補生学校を卒業し、初めて勤務した第3施設団において再度勤務できるということは、最高の喜びであります。また、この第12施設群は私が改めて言うまでもなく、第102施設大隊ころから幾多の優秀な先輩諸氏が勤務されたところであり、その輝かしい歴史と伝統を受け継ぎ更に1歩前進させるべく諸官と

もに地道に努力して参りたいと考えています。陸上自衛隊は日々変化しています。3年前にはP.K.O.活動に参加することなど誰も考えていませんでした。この3年間で、すでにカンボディア・モンザビーク・ザイルの3ヶ国、延べ6回のP.K.O.参加となっております。この第12施設群からもかなりの隊員諸官が直接P.K.O.活動に参加し外国で活躍してきたことと思います。

国際緊急援助隊等までも含めると、P.K.O.業務に従事したことのない人のほうがむしろ少ないでしょう。このようにP.K.O.は恒常化してきました。今後も毎年どこかの国へ誰かが派遣され活躍することでしょう。また、今日現在も阪神地区において災害派遣として倒壊家屋の処理に当たっている隊員諸官がいるわけですが、今回の阪神・淡路大震災はその規模が大きかったゆえに今後の自衛隊の災害派遣の在り方も変えていく要因となるかも知れません。

昨年、総理大臣の諮問機関としての防衛問題懇談会の在り方について検討しているところですが、こういった環境下において我々第12施設群は何をしたら良いのでしょうか。個人

にあつては自分に与えられた職務・特技をいっとういっただ場面でも十二分に発揮できる特技者となる。組・班以上の部隊ではこれらの特技者を状況に応じて使いこなす柔軟な状況判断力を持った指揮官を養うとともに、どういった状況でもなにか任務を達成するために必要な基本的な部隊の行動を演練することが必要であると考えています。

私の若い頃と違って、現在部隊は大変忙しくなりました。さらにいろんな任務が増え、ますます忙しくなるでしょう。無駄を廃し不必要な形式を排除し真に必要なものを反復演練し、「明るく、楽しく、前向きに」活力に満ち溢れた部隊とするために諸官とともに努力していきたいと考えています。

次に駐屯地についてですが、我々自身が勤務時間の大半を過ごすこの駐屯地をさらに住みやすいものとするため全員で努力していきます。また、我々の行動を理解し支援して頂く駐屯地周辺の方々、岩見沢市民の方々に對し駐屯地や訓練を積極的に開放するとともに地域社会にできる限りの貢献をして「開かれた・貢献する・魅力ある駐屯地の育成」に邁進していきたいと考えています。今後とも、諸官の御協力をお願いし、着任の挨拶と致します。



に取っつけ、それぞれ激励の言葉を述べた。これに對し、派遣隊員を代表して高木中隊長が「住む家もない現地の人達に役立つように弱音をはかず、第十二施設群の代表という誇りを持って全力を尽くします。」と決意を述べた。この後、駐屯地全隊員が見送る中、南恵庭駐屯地へ向かい施設支援群の編成完結式に臨んだ。

そして、二月四日、五日の先遣隊、六日から八日にかけて本隊は三派に分かれ小樽港から、それぞれ被災地に向かった。

一月十七日早朝発生した、兵庫県南部地震(阪神大震災)の復興支援のため「北部方面施設支援群」が編成され、岩見沢・第十二施設群からも七十名が派遣され活躍している。



阪神大震災復興に 第12施設群からも派遣

隊友会岩見沢支部

◇平成七年度新年交例会◇

(三十八名が参加して盛大に開催された)

平成七年一月二十八日、十九時から「おおぞら」で恒例の新年会を開催した。

今年も、支部長が都合が悪くて欠席のままの新年会となったが、お互いに一年一々それぞれ年を重ねることに、髪の毛も薄くなったり白さが増したりしてきていて、気が持たなければ若く元気な話し合える機会はそんなに多くはない。十年近く顔を合わせなかった人など懐かしく話し合える場でもあった。

同じ釜の飯を食した我々にとってお互いに元気な姿に接し、歓談のひとときを過ごすことは何よりの励みにもなると思えます。

毎回、顔触れも変わりまた、新しく入会された人も加わり本当に良い新年会になりました。

支部長に変わって長崎副支部長が挨拶し「特に昨年から今年初めにかけての天災地変などでの罹災状況」や「今年選挙の年になる」事など、また、安藤議員から平素のご支援についてのお礼の言葉などが述べられて祝宴に入った。

歳はとつてもそれぞれの酒の勢いは衰えず、酔うほどに昔とった杵柄というか「カラオケ」も止まるどころを知らない賑わいのうちに時間は過ぎていきました。

乾杯の音頭を細川支部長が取り、最後に恒例の北部方面隊歌広田顧問の指揮により声高らかに合唱して、まだまだ

長崎 記



「阪神大震災」災害救援隊員について思う

副支部長 長崎 進

この度の阪神大震災については、五千四百余人の人達が亡くなられ、自傷された方や家を失った方々は莫大な数字に上っており痛ましい災害となりました。

災害に遇われた皆さんに対し哀悼の意を表しますとともに、お見舞いを申し上げます。岩見沢の駐屯地からも七十名の隊員が駆けつけ、災害復旧に当たっておられる皆さん誠に苦勞様でございます。

岩見沢駐屯地は、海外でのPKOなどで活躍され、その功績は高く評価されているところであり、我々OBにとりまして、頼もしく感じているところでもあります。

これからも、国民が自衛隊に期待することは多々あるかと思いますが、いかなる要請があるうとも普段における訓練の成果が、何事にも対応できる基礎であると信じております。

訓練さえ精進であれば、自信を持って対応できるものだということを私は経験し、在隊間もそのことを信じて「こと」に当たってきたと思えます。特に災害派遣などは、思いもよらぬことばかりですが、臨機応変にできることは訓練の積み重ね以外にないと思えます。

今回の大震災のニュースを見て、北九州(熊本から門司まで)の大被害を思い出しました。

私事で恐縮ですが、昭和二十八年の夏のことです。当時私は、豊川の一〇二建設大隊に所属しており、小銃の射撃検定で豊橋市の射撃場に天幕露営しておりました。

この時に三日間雨が降り続いておりましたが、北九州地区はこの雨で大雨が降生したのです。

無線連絡で直ちに駐屯地に帰隊するように命令が下された。今のように車も沢山ある時でなかったため、強行軍で豊川を目指した。駐屯地ではすでに第一梯隊が発砲準備を整え豊橋駅からこの夜中に臨時列車で出発しました。

私は夜中までかかって豊橋駅まで車両や荷物を運搬して朝の臨時列車で門司市に急行しました。関門トンネルは冠水して通過不能で連絡船で門司市に至り、早速市内の災害復旧からスタートした。

朝早くから夜遅くまで、泥んこになって懸命の作業を実施した。この時は、おかげさまで洗濯などは町内のご婦人が絡んで応援をしてくれたのでその点は助かった。

私は、後半になって町外れの崖崩れ現場の行方不明者捜索を命じられ、約十名を連れて現地に赴いた。この場所は、道路のすぐ近くが竹林になっていて道路脇の家が押し潰されて表面は粘土が約二m位被っていた。人が埋まっているということから人力で掘り出す以外に大変な努力であった。おまけに竹の根が重なり、家が縦横に埋まっていて、家が縦横に埋まっていった。

約三日ぐらい経ったときに戸板の隙間に足らしいものが発見された。そして顔が見えましたがすでに骸骨になっていました。しかし、レインコートにくるまっていたところは肉片がついていた。発見したのが

隊友のつどい

五十名が参加して盛大に開催

岩見沢支部では、平成六年度の最後を飾る「隊友のつどい」を、平成七年三月十二日午後から岩見沢観光ホテルで開催しました。

当日は五十名の会員が参加し盛会のうちに終了しました。今回は岡田支部長が都合により欠席となり、支部長代理として長崎副支部長から挨拶をし、「隊友会の状況や最近の社会情勢、今年度の地方選挙について」の主旨の挨拶をした後、安藤顧問から挨拶があり「平素のご支援についてのお礼と今後のご支援にちてのお願い」の主旨が述べられ、続いて道議出馬予定の瀬能氏から挨拶があり、今後の活躍についての意思表示がなされました。

十三時から十六時までは、入浴したり閉幕・将棋・マジシャンなどと思いいかに時間を過ごし、十六時三十分からます記念撮影を行い懇親会となりました。

十時頃で、運び出したのは十一時過ぎであった。その日の昼食は豚汁であり、だれも手を付ける者はいなかった。このようにして悪戦苦闘して災害復旧に当たった想い出は今でも忘れることはできない。

世間の人達は、自衛隊は何でもしてくれるものと信じている。スパーマンではないけれども自衛隊に寄せる期待はますます高まってこよう。ご健勝を祈る。

長崎 記



千葉電気工事株式会社
代表取締役 千葉 嘉男
岩見沢市東山町22番地71
電話(0126)24-4567番

近江建設株式会社
特定土木建築許可 一級建築士事務所
代表取締役会長 近江 章
代表取締役社長 近江 雅章
本社 岩見沢市4条東17丁目45番地 電話 23-3026
FAX 25-6582
支店 札幌市中央区北1条西20丁目 電話 843-2869
岸本ビル4F FAX 643-2616
支店 三笠市唐松町1丁目874 電話 2-3179

安心しっかり
愛車もしっかり
車検費用積立プラン
富士火災
担当 松浦直樹
岩見沢支社 TEL23-5142

阪神大震災 災害派遣

—— フォトニュース ——



オール電化マンション

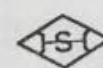
レジェンド (有) エイ

連絡先: 岩見沢市6条西7丁目

☎ 22-0087

総合商社 株式会社 君島商会

- 本社 社 岩見沢市南町8条2丁目 ☎022-4613
- 志文支社 岩見沢市志文本町2条3丁目 ☎ 22-5813
- 薬沢支店 薬沢町本町 10 ☎ 45-2068
- 石油部 岩見沢市南町9条2丁目 ☎ 22-4565
- 自動車部 岩見沢市南町9条2丁目 ☎ 22-6434
- ホーランド岩見沢 岩見沢市南町9条2丁目 ☎ 22-7861
- コパス岩見沢 岩見沢市南町8条2丁目 ☎ 24-8380
- ゼンインビル岩見沢 岩見沢市南町8条2丁目 ☎ 25-4840



ビル管理部、北海道知事登録・元・清・第6号

はしもと商事有限会社

メンテナンスに関する事なら
お任せ下さい。

親切・丁寧・确实



TEL・FAX (0126) 22-5546

岩見沢市駒園5丁目6

第12施設群

100Kmスキー

約20年振りに

機動訓練



第十二施設群では、二月二十七日から三月二日までの間の三夜四日にわたり、本年度最大の目標であった百kmスキー機動訓練を実施し、曹別から岩見沢駐屯地までの約九十kmスキー行進し、天候にも恵まれ全隊員が一人のけが人もなく完走した。

一日目は岩見沢駐屯地を朝五時に車両で移動して一路当初の機動開始地点である芦別に向かった。七時四十分先発隊出発、以降十分間隔で各中隊がジョーリングにより目的地である桂沢湖宿営地に向かい、約二十七kmを前進し十三時三十分無事に到着。二人組になりそれぞれが工夫を凝らした宿営設備の雪穴を構築し、約二時間でほぼ完成し夕食(少しの飲酒)等をした後就寝した。

二日目は七時三十分、快晴のなかダイヤモンドダストを見ながら桂沢湖を出発、盤ノ沢に向かい行進開始。約二十kmを、主として緩斜面及び山地を行進した。

三日目は最大の難関である水源地までの約二十二kmを全員無事行進。

四日目、一路駐屯地を目指し出発。行進間最後の昼食を食べ、十三時二十分駐屯地に残っている全隊員の盛大な歓迎を受け無事到着。編成解散式で万歳三唱をして訓練を終了した。



冬祭り支援



▽北村田舎フェスティバル△
2/11 ~ 2/12



▽岩見沢ドカ雪まつり△
2/4 ~ 2/5



▽月形冬まつり△
2/11 ~ 2/12



▽三笠恐竜まつり△
2/4 ~ 2/5

500人収容の大宴会場から中小宴会場
でお待ち申し上げます



岩見沢市4条東1丁目 ☎(0126) 23-7788

自衛隊退職者雇用協議会 岩見沢支部

事務局：岩見沢商工会議所内
支部長：勝井 祐 輔
TEL：0126-22-3445

おしゃれの店 洋品のマルカワ

高橋 邦夫

岩見沢市3条東1丁目 ☎(0126) 221224

みんなの広場



第312施設器材中隊
2曹 相原 良憲

私は第一派出発から約一ヶ月遅れの第三派出発であり、実質二ヶ月の派遣となりました。出発までの一ヶ月間は、事前訓練と現地サイールのゴマへ空輸するコンテナの積み込み作業を実施し、体調を整えながら出発を待ち、十月二十五日出発。一日以上かかる長い飛行時間のうちアフリカに到着、最後に現地入りの空自のC-130に

乗るため空港に向かう途中の道路端の雑草でキリンの群れを横目で見ながら「アフリカ到着」を実感しました。私自身、第三派遣入ということと現地に到着後即戦力になれるように万全を期してきたため、到着一時間後にはすぐ配線等の雑作業を実施し、次の日からは駐留地外へすぐ6トントレーラーに油圧を乗せて作業という毎日に続き仕事は充実していました。

内容は、キャンプ内側溝浸透ます・砂利敷設工事、五千および三千人収容可能な墓地作成、サイール内道路・側溝整備及び破砕作業、地山を崩しての土取り場の開設・運営

等が主な大きい作業であり、その他施設管理としての雑作業も多々ありました。治安も衛生状態も悪く、夜はほとんど毎日銃声が聞こえ、仕事後は毎日防疫班による消毒および洗車。

ニイラコンゴ山の山頂はいつも赤く燃えるようで不気味であったけれども全て良い意味での緊迫感を与えてくれて、二ヶ月間無事任務を遂行し帰国できて本当に良かったと考えています。

「ルワンダ難民救援隊に参加して」



第342施設中隊
3曹 中上 聡

昨年九月二十日から十一月二十三日までの約二ヶ月間、ルワンダ難民救援隊に参加し、サイール・ゴマに行ってきた。事前教育で聞いていたとおり、殺伐としていて黒人ばかりだった。しかし、サイール人は友好的に出迎えてくれた。

ゴマでの作業は、宿営地の外柵構築、拡張、整備、天幕類の展張支援、難民キャンプ内の整備、ゴマ市内の排水溝の整備、その他の雑作業等で、作業のない日はほとんど無かった。

私は、7レダンプのドライバートしてほとんどのキャンプに行ってきたが、全てのキャンプの子供達が明るく元気だったのは、非常に印象に残っているが、大人達も温かく出迎えてくれた事には驚いた。しかし、衛生環境は最悪で悪臭を放っていた。いつも宿営地に帰ると、喉と目が痛くなった。これは仕方ないことだが、すぐ手を出して「アメをくれ」、「ビスケットをくれ」と、物を乞いをするのが私にとって唯一腹が立つことだった。一人に物を与えると「私にも、私にも」と取捨がつかなくなり、パニック状態になってしまつたため与えたくて与えられない葛藤が、腹の立つ原因だった。終戦直後の日本もそうだったらしいが、

今の日本に生まれて良かったと改めて実感した。比較的過ごしやすかった環境と、毎日聞こえた銃声の中で何事もなく終えた三ヶ月間は、長いようで短かったが私にとっては、有意義で良い体験をしたと思う。

この度、私が自衛隊に勤務するようになって五ヶ月目になりました。先日、採用になった感想を綴るとのことから、感じたまま一言申し上げたいと思います。



業務隊 技官 佐藤 潔

☆新採用になつて☆

私の選んだ職場は、自信と誇りを持っていける場所と考えております。幸い恵まれた環境の下で、上司並びに先輩の方々の沢山の指導とご協力をいただいていることに対し心からお礼を申し上げます。微力ではありますが、業務遂行のため更に努力をしなければ

ならないと感じております。そして、今後とも上司のご意見等良く聞き、また職場の環境整備に目負できるように見聞しなければならぬと思っております。

一月一日付で栄養士として採用されました松井です。以前は、病院に勤務していましたが、健康な人を対象にした職場で働きたいと思い、自

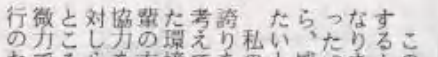
衛隊の採用試験を受けました。私は、現在まで自衛隊に身近な場所（帯広）恵庭・札幌（千歳）で生活してきたのですが、知っていたことといえは短大生のとき、帯広の駐屯地で実習した一週間に知ったことだけでした。

宝 石 創 業 8 7 年 貴 金 属
防 衛 庁 共 済 組 合 岩 見 沢 支 部 契 約 店
(株)太田時計眼鏡店
岩 見 沢 市 1 条 西 4 丁 目
TEL 0126 223353 223354

人としての
時代としての
モニュメントを大切に
株式会社 渡辺石材工業
■ 本 店 〒068 岩 見 沢 市 8 条 東 11 丁 目
TEL (0126) 25-2545 FAX (0126) 23-4567

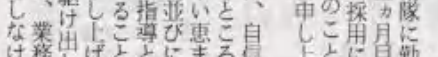
株式会社 本堂建設工業
本 社 〒068-21 TEL 010267-2-7300
三 笠 市 岡 山 3 5 9 番 地 1 FAX 01267-2-6888
札幌支店 〒060-3 TEL 011-861-1381
札幌市白石区本道町南1の8 FAX 011-865-5034
石狩支店 〒061-52 TEL 0123-73-2111
石狩町花川南1条1丁目 FAX 0123-73-0757

キトックキャンプの近くにある港



この度、私が自衛隊に勤務するようになって五ヶ月目になりました。

業務隊 技官 松井かおり



業務隊 技官 松井かおり

業務隊 技官 松井かおり

業務隊 技官 松井かおり

業務隊 技官 松井かおり

業務隊 技官 松井かおり

業務隊 技官 松井かおり

業務隊 技官 松井かおり

業務隊 技官 松井かおり

業務隊 技官 松井かおり

業務隊 技官 松井かおり

業務隊 技官 松井かおり

業務隊 技官 松井かおり

業務隊 技官 松井かおり

業務隊 技官 松井かおり

人事往来

◎転出

【第十二施設群】
 群本部
 二佐 諏訪 舜一 北方総
 三佐 佐伯 龍一 東北方総
 一尉 鈴木 高義 3 施団
 本部管理中隊
 二尉 三輪 正人 2 地対艦
 曹長 北山 幸一 岩見沢業
 一曹 西田 実 岩見沢業
 二曹 中谷 護 3 施団
 二曹 豊蔵 悟 342 施中
 第三三五施設中隊
 一曹 宮崎 勝彦 4 施大
 第三五六施設中隊
 二尉 衛藤 栄治 5 施大
 曹長 上杉 高正 13 施大
 一曹 川上 茂二 岩見沢業
 二曹 吉田 哲也 11 施群
 第三三七施設中隊
 一尉 山本 九士 施設校
 三曹 今泉 英雄 苗穂支処
 士長 大内 貞昭 22 普連
 第三四二施設中隊
 三佐 熊谷 裕文 群本部
 曹長 澤田 哲明 本管中
 一曹 小林 實 本管中
 第三二二施設器材中隊
 一曹 砂田 栄治 札地連
 【業務隊】
 一尉 中村 謙一 東千歳業
 一曹 吉田 勇 12 施群
 一曹 田端 一美 12 施群
 三曹 堀岡 竜一 12 施群
 【会計隊】
 三曹 関 崇英 札幌
 【基地通信隊】
 三曹 河内 勇人 国分
 【警務隊】
 二曹 小林 孝造 遠軽

◎転入

【第十二施設群】
 群本部
 二佐 林田 守一 苗穂支処
 三佐 角田 正史 3 施団
 三佐 熊谷 裕文 342 施中
 本部管理中隊
 曹長 澤田 哲明 342 施中
 一曹 吉田 勇 岩見沢業
 一曹 小林 実 342 施中
 一曹 浦木 実 札地連
 一曹 大澤 栄 苗穂支処
 一曹 田端 一美 岩見沢業
 第三五六施設中隊
 三曹 角田 誠 11 施群
 第三三七施設中隊
 一尉 大足 卓也 1 施群
 第三四二施設中隊
 三佐 八前 人司 13 施群
 二曹 豊蔵 悟 本管中
 第三二二施設器材中隊
 二曹 藤川 秀之 8 施群
 三曹 堀岡 竜一 岩見沢業
 三曹 保科 慶博 312 夕中
 【業務隊】
 一尉 山下 義晴 3 施団
 一尉 瀬谷 欣一 函地連
 曹長 北山 幸一 12 施群
 一曹 西田 実 12 施群
 一曹 川上 茂二 12 施群
 【会計隊】
 三曹 早淵 隆行 遠軽



永年の勤務
ご苦労様
でした



3月31日付

業務隊
事務官 坪田榮五郎
就職先 北洋警備隊



2月28日付

本部管理中隊
三尉 北野 一年



2月9日付

第三二二施設器材中隊
三尉 高橋 光雄
就職先 拓銀江別支店



1月27日付

群本部
二尉 神田 務



1月26日付

群本部
三佐 寺島 利博
就職先 牟田建設興業(株)

この春学校を卒業する入隊予定者は、岩見沢、美唄、栗沢、月形、北村の六市町村から女性五名を含む四十二名で、今年度は防衛大学校、航空学生、曹候補生、自衛隊生徒等バラエティに富んだ入隊予定者で全国のそれぞれ陸・海・空部隊に旅立つ予定になっている。

激励会には、首長をはじめ父兄等約百二十名が出席。北海道知事からの記念品が代表の鈴木千晶さん(美唄市)に贈られた後、壇上で一人ひとり紹介され、各首長からの記



総入隊予定者激励会

平成六年度入隊予定者激励会(札幌地連岩見沢募集事務所管内六市町村入隊予定者激励会実行委員会主催)が三月三日、駐屯地体育館で行われ、一足早い自衛官の気分を味わった。

この春学校を卒業する入隊予定者は、岩見沢、美唄、栗沢、月形、北村の六市町村から女性五名を含む四十二名で、今年度は防衛大学校、航空学生、曹候補生、自衛隊生徒等バラエティに富んだ入隊予定者で全国のそれぞれ陸・海・空部隊に旅立つ予定になっている。

激励会には、首長をはじめ父兄等約百二十名が出席。北海道知事からの記念品が代表の鈴木千晶さん(美唄市)に贈られた後、壇上で一人ひとり紹介され、各首長からの記

入隊予定者激励会

赤ちゃん

第三三七施設中隊
一曹 森 克則
長女 千奈実ちゃん
12月28日

第三三六施設中隊
二尉 森田 勝彦
長女 雪乃ちゃん
1月22日

第三四二施設中隊
三曹 木村 清弘
長男 遼太郎くん
2月8日

第三三五施設中隊
二曹 伊藤 重雄
長女 彩花ちゃん
1月5日

第三三六施設中隊
三曹 上村 修司
長女 紗生ちゃん
1月30日

本部管理中隊
三曹 中村 博之
長女 美砂子ちゃん
3月2日

“終身保険の充実保障。”

- 三大疾病 (リビングニーズ)
- 余命6カ月生前死亡保険金支払
- 通院特約

東邦生命

担当 深沢 隆子 (内線327)

安心とゆりのプラン

協栄生命 LL・ワイド 15% 更新型

余裕資金を上手に活かして大型保障

協栄の保険料頭金制度をご利用下さい。
定期特約付終身保険

協栄生命保険株式会社

二人の時間を刻みたい

Iwamizawa Heiankaku

Phone. 0126-23-4581 FreeDial. 0120-201143